

七月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 本願寺派 西福寺
TEL 072-533-3755 FAX 072-533-3756

いつの間にかうず高く積みあがった恨みや哀しみが、誠実な言葉と抱擁の前に、もろくも崩れ去ります。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十八年七月のご案内を申し上げます。

第二百五十九回

人生講座

日時 七月 十日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使

福間玄猷師



■福間(ふくま)先生、四十四歳。広島県三次(みよし)市、源光寺住職。二十年前、縁あって当山より入寺しました。平成二十三年に継職法要が厳修され、源光寺様の法灯を継承されました。お話が分かりやすく聞きやすいと好評です。

■夏の日差しが容赦なく降りそそぐ昼下がり。冷房の効いた本堂でイスに腰かけ、仏さまのお話を聞いてみませんか？

●全国布教大会(大阪大会) ―伝燈奉告法要お待ち受け―

* * *

法話講師・小林明(奈良)／安德剛典(大阪)／西仁子(東京)／松島法城(兵庫)／武田公裕(広島)／長谷都子(兵庫)／吉村善充(北海道)／藤大慶(大阪)アトラクション・るんびに学園(和太鼓)／やなせなな(シンガーソングライター)

日時：2016(平成28)年7月13日(水)午前9時半〜午後5時

場所：本願寺津村別院本堂(大阪市中央区本町4-1-3 地下鉄「本町」②出口)
※軽食をご用意しています。
お問い合わせ072-991-0302(小村)

お盆のお参りは、お早めに。

南無阿弥陀仏をとなふれば

観音・勢至はもろともに

恒沙塵数の菩薩と

かげのごとくに身にそえり

「先祖方を偲びつつ、「お陰さま」と感謝の気持ちで、お迎えください。

「ご家族お揃いでお参りしていただきたく、なるべくご希望に添えるようにいたしますが、お時間の指定までにはご遠慮下さい。

当日の天候や道路事情によりお約束の時間より前後する場合があります。

また、初盆をお迎えになる方を優先させていただきます。

何卒ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

電話：072-622-3725

伝燈奉告法要団体参拝*平成29年4月28日



正信偈のつづき ②

◆顕示難行陸路苦 信楽易行水道楽

【意訳】陸路のあゆみ難けれど船路の旅の易きかな

龍樹菩薩は、『十住毘婆沙論』で、念仏の優れていることを明らかにするため、成仏道に二種類の道があると明かされた。一つは難行道、もう一つは易行道である。難行道の修しにくいことを陸路の歩行にたとえ、易行道の修しやすきことは、水上を船に乗っていくことにたとえた。

◆憶念弥陀仏本願 自然即時入必定

【意訳】弥陀の誓いに帰しぬれば不退のくらしい自然なり

本願力の不思議を憶念する人は、おのずから必定に入り、退転することがない。

◆唯能常称如来号 応報大悲弘誓恩

【意訳】ただよくつねにみ名となえふかきめぐみにこたえかし

真実の信心を得た人は、寝ても覚めても常に名号を称え、大悲弘誓の恩徳に報いずにはおれない。

◆天親菩薩造論説 帰命無碍光如来 依修多羅顕真実 光闡横超大誓願

【意訳】天親菩薩論を説きほとけのひかり仰ぎつ、おしえのまことあらわして弥陀の誓いをひらきます

天親菩薩も龍樹菩薩同様、千部の論師と称される。釈尊在世より九百年後にお出ましになられた。『浄土論』一卷を造り、浄土三部経の大意を明らかにされ、阿弥陀仏を信順された。天親菩薩は、大乘経を選びとり真実を顕された。その真実とは念仏である。

石川欣也先生の法話のダイヤル0743-53-4488

八月のご案内

〒567-0012
 茨木市東太田二丁目九一二一
 浄土真宗 西福寺
 本願寺派
 TEL073-533-3750 FAX073-533-3750

自他一如、怨親平等の絶対の真実は、南無阿弥陀仏という名となつて、衆生にみずから知らしめていくと良き人の仰せです。皆様には如何お過ごしでしょうか。
 平成二十八年八月のご案内を申し上げます。

盃 蘭 盆 会

日時 八月十五日（月）夜七時〜九時
 講師 当院住職自動



■「お盆は、『盃蘭盆経』の説話による行事です。わが子への愛ゆえに餓鬼道（がきどう）に堕ちた母。その母の境涯を知り、苦悩する目連尊者（もくれんそんじや）。じゅんじゅんと救済の法を説かれるお釈迦さま（菅純和著『仏事の小箱』）。親の恩に思いをいたし、どうぞご家族皆さままでお参り下さい。
 「月光の夏（1993年・日本）」上映予定。

●お盆のお参りについて

「正信念仏偈」と下記の「四句念仏・回向」そして「ご文章」をお勤めいたします。どうぞ、有縁の方々ご一緒にお参り下さい。
 「正信念仏偈」は、「十二礼（じゅうにらい）」の節でお勤めいたします。「行譜」・「草譜」でのお勤めの際は、「善導独明佛正意」で調声人が独唱いたしますが、この場合は、そのまま続けてともに唱和いたします。なお、人生講座はお休みです。

* * *

西福寺歓喜会（かんぎえ）

平素より宗門ならびに当山西福寺の護持発展のため、格別のご配慮を賜わり有難く厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り8月13日、「歓喜会」をお勤めいたします。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、当日各世帯代表者1名のご参拝をお願い申し上げます。今後ともご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

記

- 一、日時 8月13日（土）午後6時〜
 - 二、会所 西福寺本堂
 - 三、持物 聖典・念珠・式章ご持参ください。
- ※西福寺上野門徒のみ。



伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日

念佛 律曲 平調

南无阿彌陀佛

南无觀世音菩薩

南无大勢至菩薩

南无清淨大海

衆菩薩

回向 律曲 黄鐘調

願以此功德

平等施一切

同發菩提心

往生安樂國

永代経日記

茨木市立太田小学校5年1組 藤 慶信

5月14日と5月15日に永代経がありました。西福寺（浄土真宗本願寺派）に来てくれた先生は、山本撰叡先生でした。山本先生が（撰叡という字はむずかしいので省きます。）話した事は、人は自分の作りあげてきた世界が正しと思っっているということと、どんな悪人でも、仏教で救われるのか？という話と、おきょうを読むときは本当の自分で読んでくださいという話と、あとはねてしまったので何をしゃべっていたのか記憶にありません。本堂に申し訳ありませんでした。

まず、先生はなぜ鏡は左右反対にうつるのになぜ上下反対にうつらないと思えますか。なぜかという鏡は、人から見た本当のすがたださうです。だから決して逆ではないさうです。

次に、信心とはどういう意味か、聞かれたときにすぐに答えられますか？実は信心（しんじん）は中国からそのままきた漢語ださうです。（日本語の言葉は和語）それを法然しようにんは和語で「まことのこころ」と言われたさうです。いや、ひじょうにわかりやすいですね。

次に、悪人は救われるかとありますけどもそのままで救われません。第一そんな仏教はないさうです。では、どんな悪人なら救われるかという、自分が悪だと気づき、なおした人が救われるさうです。

今回、来てくれた山本先生の例えなどはとてもわかりやすかったです。わかりやすすぎて、まるうつししさうにもなりさうでした。（原文ママ）

九月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九-三二
浄土真宗 本願寺派 西福寺
TEL 072-533-5507 FAX 072-533-5575

草陰にひっそりと、秋の虫たちが鳴きはじめました。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十八年九月のご案内を申し上げます。

第二百六十回

人生講座

日時 九月十一日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使・ビハラー僧

花岡尚樹師



■花岡(はなおか)先生、四十一歳。奈良県吉野郡大淀町、浄仰寺住職。京都府城陽市の「あそかビハラー病院」は、浄土真宗本願寺派によって設立された、仏教精神を理念とした独立型緩和ケア病棟です。ビハラー僧として勤務され、死の苦しみに寄り添う活動を続けておられます。

●昼下がりワンコインコンサート

―和太鼓に打ち込む青少年と若き住職の眼差し―

フレンドシップかがやき・生涯学習センター共催の「昼下がりワンコインコンサート」で「るんびに太鼓」の演奏と当山住職の講話をお聞きいただきます。お近くの方は、ぜひお越しください。

● 日 時：平成28年9月19日(月・祝) 13時半〜15時(開場13時)

● 会場：八尾市生涯学習センター4階大会議室(八尾市旭ヶ丘5-85-16)

● 参加費：500円(未就学児は無料)

● 申込み：9月2日(金) 午前9時より/窓口・電話先着のみ。

※問い合わせ先：八尾市生涯学習センター 072-924-3876

彼岸会コンサート

清風宝樹をふくときは
いつつの音声いだしつづ
宮商和して自然なり
清浄勲を礼すべし

西福寺仏教婦人会9月の例会は、彼岸会(ひがえ)コンサートです。孤高の箏(こと)演奏家・杉浦充さんと二胡(にこ)奏者の中村ゆみこさんをお迎えします。当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。運営協力金として千円、ご負担ください。「佛説阿弥陀經」のお勤め後、ご鑑賞いただきます。

日時：9月20日(火) 午後2時〜3時半
場所：西福寺本堂

伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日

正信偈のつづ ⑫

◆ 広由本願力廻向 為度群生彰一心

【意識】本願力のめぐみゆえただ一心の救いかな

阿弥陀仏の本願力によって往生と同時にさとりを開くことのできる教法を横超という。この優れた誓願を開き、本願の廻向によって衆生を救うため、天親菩薩は一心に阿弥陀仏に帰命され、衆生もまた同じく一心に帰命するよう勧められた。

◆ 帰入功德大宝海 必獲入大会衆数

【意識】ほとけのみ名に帰してこそ浄土の聖衆のかずに入れ

大宝海とは、あらゆる衆生を嫌わず、障りなく、隔てることなく導き入れるさまを大海の水の隔てなきさまにたとえたものである。このように功德の大宝海に帰入すれば、かならず浄土の聖者となって阿弥陀仏と相見える

◆ 得至蓮華蔵世界 即証真如法性身

遊煩惱林現神通 入生死菌示応化

【意識】蓮華の国にうまれては真如のさとりひらきてぞ

生死の菌にかえりきてまよえる人を救うなり

蓮華蔵世界とは、阿弥陀仏の浄土を指す。この地に至れば、ただちに真如法性の身となる。還相回向の心を起こして、再び娑婆に立ち帰り、心のままに衆生に働きかけ、自在に救い導いていく。



石川欣也先生の
法話のダイヤル0743-53-4488

十月のご案内

〒567-0012
 茨木市東太田二丁目九三二
 浄土真宗 西福寺
 本願寺派
 TEL 072-6222-3725 FAX 072-6222-3725

一雨ごとに秋が深まってゆきます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十八年十月のご案内を申し上げます。

報恩講法要厳修

ほう おん こう ほう よう こん しゅう

日時 十月十五日(土) 昼二時・夜七時
 十六日(日) 朝十時

講師 本願寺派布教使

加藤 幸子 師

■報恩講は、宗祖親鸞聖人のご苦勞をしのび、そのご苦勞を通じて、阿弥陀如来のお救いをいただくことをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。私たちにとってのもっとも大切なご法縁といえます。(本願寺ホームページより)
 ■お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

●報恩講の準備にご協力下さい

毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしく願います。

10月11日(火) 午後7時〜於西福寺本堂 おみがき(仏具を磨きます)
 10月14日(金) 午後7時〜於西福寺本堂 おかざり(供物をそなえつけます)

*詳細は住職までお尋ね下さい。TEL 072-6222-3725

親鸞聖人を思ふ報恩講

10月15日(土) 夜7時からの初夜法要では、「奉讃大師作法(ほうさんだいたいしさほう)」が勤められます。「るんびに太鼓」のメンバーによる雅楽演奏の中、諸僧入堂。正信偈のお勤め後、諸僧は立ち上がり念仏と共に散華、色とりどりの花が舞います。回向句がとなえられ、諸僧退出。法要は終わります。

お勤めの後「親鸞聖人物語」のビデオ鑑賞。10センチ足らずのかわいらしい紙粘土人形が生き生きと親鸞聖人のご生涯を描き出します。引き続き、加藤先生の心温まるご法話を聴聞いたしましょう。



伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日



石川欣也先生の
 法話のダイヤル0743-53-4488

念仏奉仕団募集

ほんざん うつく 本山を美しく。

本山での清掃奉仕を通し、愛山護法の念を深める機会として、本年も「茨木東組念仏奉仕団」を募集いたします。門信徒の皆さまのご参加をお待ちしております。



日時：12月5日(月)〜6日(火) 1泊2日
 費用：15,000円

(帰敬式ご希望の方は25,000円)
 締切：10月31日(月)

集合：安穩殿(旧称参拝会館) 2階・11時50分
 ※集合時間が1時間早くなっています。

宿泊場所：京都東急ホテル
 ※お申し込み・お問い合わせは西福寺まで。

(電話 072-6222-3725)

【持ち物】

聖典・念珠・門徒式章・健康保険証・雑巾
 1枚・筆記具・雨具・洗面具等・清掃奉仕で
 きる服装(エプロン・軍手・作業服等)



十一月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二
 浄土真宗 本願寺派 西福寺
 TEL072-632-3755 FAX072-632-3755

月かげ明るく、喜びも悲しみも隔てなく、静かに照らし、包んでいきます。

皆様には如何お過ごしでしょうか。
 平成二十八年十一月のご案内を申し上げます。

◎人生講座はお休みです。各寺院の報恩講にお参り下さい。

- 称名寺(総持寺) 10月22日 14時 / 23日 10時
 - 安楽寺(太田) 10月29日 13時半 / 30日 13時半
 - 本照寺(富田) 11月1日 14時 / 2日 14時
 - 光明寺(総持寺) 11月9日 14時・19時
 - 万徳寺(氷室) 11月12日 14時・19時 / 13日 13時半
 - 常見寺(五百住) 11月12日 10時・13時半
 - 常称寺(総持寺) 11月25日 14時 / 26日 14時
 - 称念寺(高田) 11月26日 13時半 / 27日 13時半
 - 顕証寺(八尾) 11月26日 / 27日 / 28日
- *万徳寺様では12日夜、御伝鈔(宗祖生涯の行蹟が記述された詞書)が拝読されます。

●お仏壇のお洗濯

ご自宅の建て替えを機に、お仏壇のお洗濯をされてはいかがですか？
 お仏壇の浜屋では、ご予算・ご希望に合わせて匠が真心を込めて仕上げます。見積もりは無料です。ご自宅が建て替わるまでの期間、お仏壇を預かっていただけます。お洗濯に出される前後には、遷座法要・入仏法要を行います。ご先祖方がお仏壇に託した思いをきちんと次代に伝えていきたいものです。

新調される場合、ご本尊(掛軸)は本願寺からお迎えください。

*詳細は住職までお尋ね下さい。TEL 072-622-3725

二〇二六(平成二十八)年度 本願寺津村別院
 親鸞聖人

報恩講

法要期間
 11月11日[金]～
 11月16日[水]日中
 前門様御導師
 15日速夜・16日日中
 ■13:30～ ■10:00～

先般、当山報恩講では多数ご参拝いただき誠に有難うございました。堂内では、毎座お同行の皆さまの唱える正信偈の声に満ち、ご講師の加藤先生からは、力強くも温かいご法話をお聞かせいただき、法味あふれる2日間となりました。

大阪本町、本願寺津村別院でも11月11日より報恩講が勤められます。日中法要は朝10時から、速夜法要は昼1時半からです。15日速夜、16日日中は、前門様御導師による法要となります。

なお、13日速夜までは稲田静真師(大分)、14日からは林智康勧学(福岡)による報恩講布教が行われます。

御堂筋の銀杏色づくこの季節、有縁の皆さま、どうぞご参拝ください。



伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日

例えばこんな場合…

- 1 金具が壊れ、戸や障子の開閉がしづらい
- 2 漆塗りの部分が割れてたり、はがれてツヤがない
- 3 彫刻が欠けていたり、害虫による被害を受けている
- 4 金箱が汚れたり、はがれて黒い部分が見えている
- 5 障子の格子が折れて紗(シャ)などが破れている



いしかわきんや 石川欣也先生の
 法話のダイヤル0743-53-4488

正信偈のススメ ⑬

◆本師曇鸞梁天子 常向鸞処菩薩礼
 三蔵流支授浄教 梵焼仙経帰楽邦

【意訳】曇鸞大師 徳たかく 梁の天子に あがめらる
 三蔵流支に みちびかれ 仙経すてて 弥陀に帰す

曇鸞大師は、はじめ四論宗に属していた。四論とは、三論に『大智度論』を加えたものである。三論とは『中論』『百論』『十二門論』の三つを指す。曇鸞大師はこの四論に精通していた。梁国の皇帝蕭王は、曇鸞菩薩と尊称し敬服していた。

◆天親菩薩論註解 報土因果顕誓願
 往還廻向由他力 正定之因唯信心

【意訳】天親の論釈しては浄土にうまるる 因果も往くも還るも 他力ぞとただ信心をすすめけり

曇鸞大師は、天親菩薩の『浄土論』を『論註』として註釈され、極楽浄土の因果、阿弥陀仏の誓願の一つ一つを詳細に顕された。

往相・還相の二種の回向は、凡夫の側より起こせるものではなく、ことごとく阿弥陀仏の他力によって起こさしめられるものである。凡夫が往生成仏できるのは、信心がより起こることによる。



十二月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二
 浄土真宗 西福寺
 本願寺派
 TEL075-353511 FAX075-353511

ピンと張りつめた大気が、煌めきをいよいよ鮮やかにして、星かげはあまねく大地を照らします。皆様には如何お過ごしでしょうか。

平成二十八年十二月のご案内を申し上げます。

第二百六十一回

人生講座

日時 十二月十一日(日) 昼二時〜四時
 講師 本願寺派布教使



高島 幸博 師

■高島(たかしま)先生、三十五歳。茨木市沢良宜浜、専念寺衆徒。一般家庭に生まれ育ち、龍谷大学仏教学科入学が縁となつて、大学卒業後就職するも、30才の時に得度し僧籍を取得。翌年、専念寺へ入寺。明るくまじめな人柄が、次期住職としてご門徒のみならず宗門の期待を集めています。

■お誘いあわせの上、ござつてお参り下さい。

●本山成人式のご案内

新成人の皆さん、おめでとうございます。

本願寺では、1月15日(日)に皆さんが新成人となられたご縁として、親鸞聖人のみ教えに出遭つていただきたいとの願いのもと、「本山成人式」を開催いたします。

●日 時：2017年1月15日(日)

●会 場：本願寺阿弥陀堂(京都市下京区堀川通花屋町下ル)

●参加対象：1996年4月2日から1997年4月1日までの間に生まれた新成人の方

●参加費：無料(※帰敬式受式希望者は冥加金3,000円が必要です)

●応募方法：所定の申込用紙に必要事項を明記の上、寺院活動支援部へ組織教化担当内「本山成人式」係までお申し込みください。(電話 075-371-5181・FAX 075-351-1211)

●募集締切：2016年12月20日(火)

年末年始のお参りについて

誠に勝手ながら左記の通り、年末年始は、お逮夜参りをお休みいたします。

この期間内に月命日を迎えられる方は、12月30日までのご都合の良い日をご連絡いただければ、お伺いいたします。もしくは、来年1月1日昼一時より勤まる元旦会にご参拝下さい。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

年内：12月30日(金)まで

新年：1月5日(木)から

*葬儀など緊急の際は、ご遠慮なくまずお寺までご連絡下さい。

TEL 072-6222-3725

伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日

正信偈のつづき ⑭

◆惑染凡夫信心発 証知生死即涅槃
 必至無量光明土 諸有衆生皆普化

【意訳】まどえる身にも信あらば 生死のままに 涅槃あり

ひかりの国にいたりては あまたの人を 救うべし

一念の信心が起こるとき、どのような煩惱に煩わされようとも、阿弥陀仏の不可思議なる法によつて、迷いの境涯がそのまま成仏道へと転ぜられる。

親鸞聖人は、阿弥陀仏の浄土を「仏はこれ不可思議光、土はまた無量光明土なり」と定義された。この地に至れば、ふたたび娑婆に立ち戻り、あらゆる凡夫を教化し、済度していく。

◆道綽決聖道難証 唯明浄土可通入

万善自力賤勤修 円満徳号勸専称

【意訳】道綽禅師 あきらかに 聖道浄土の 門わから

自力の善をおとしめて 他力の行をすすめつ、

道綽禅師は初め涅槃宗の学者であった。曇鸞大師滅後のお出ましで、直接取り立てられ学ばれることはなかった。ある時、玄中寺で曇鸞大師の碑文を読み、深く感じ入り浄土門に入られた。このような経緯によつて曇鸞大師の弟子とされている。以降、涅槃経を講ずることなく、浄土の教えを広められた。すなわち、聖道門は難行である。浄土門は易行であるから、末法の時代に生きる凡夫は、浄土の一門に通入すべきであると勧められた。

万善は自力の行であるから、末法時代を生きる凡夫には修行すれども成就しがたい。円満なる徳号である阿弥陀仏の名号は、本願他力の行であるから、末法時代を生きる凡夫にふさわしい。

石川欣也先生の 法話のダイヤル 0743-53-4488